



印西市

議会だより

第154号

平成22年(2010年)11月

発行 千葉県印西市議会
編集 議会だより編集委員会
〒270-1396
千葉県印西市大森2364-2
TEL 0476-42-5111(代)
FAX 0476-42-5299



松山下公園総合体育館で行われた山岳競技（ゆめ半島千葉国体）

平成22年 第3回 定例会

会期9月2日～10月18日

平成21年度決算を認定

決算審査特別 委員会設置

第3回定例会は会期47日間で開かれました。条例の廃止が1件、条例の一部改正が3件、平成22年度補正予算が3件、その他6件の計13議案のほか、平成21年度決算の認定が20件、報告5件、同意2件、請願1件、陳情4件が提出され、それぞれ慎重な審議が行われました。

なお、議案などの議決結果については、2ページに掲載しています。

平成21年度印西市各会計歳入歳出決算（一般会計及び特別会計）、平成21年度印西市水道事業会計決算、平成21年度印旛村各会計歳入歳出決算（一般会計及び特別会計）、平成21年度本埜村各会計歳入歳出決算（一般会計及び特別会計）を集中的に審査するため決算審査特別委員会を設置し、付託した。

- ◆平成21年度印西市各会計歳入歳出決算（認定）
- ◆平成21年度印旛村各会計歳入歳出決算（一般会計及び特別会計）（認定）
- ◆平成21年度印旛村水道事業会計決算（認定）
- ◆平成21年度本埜村各会計歳入歳出決算（一般会計及び特別会計）（認定）

総務大臣 感謝状

市議会議員として35年以上在職し、地方自治の発展に努め、その功績が顕著であることから、板倉正直氏に総務大臣より感謝状が贈られました。



北総地区市議会議員 研修会開催

10月15日（金）成田市において、千葉県北総地区市議会議員研修会が開催され、印西市議会から26名の議員が参加しました。講師には横江公美氏をお迎えし、「ネットの活用で政治はどうなるのか」についてご講演をいただきました。



平成22年 第3回定例会 議案等議決結果

議案番号	件名	議決の結果
議案第1号	印西市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第2号	印西市大森集会所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議案第3号	印西市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第4号	印西市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第5号	平成22年度印西市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第6号	平成22年度印西市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第7号	平成22年度印西市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第8号	財産の取得について	原案可決
議案第9号	業務委託契約の締結について	原案可決
議案第10号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第11号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第12号	印西市道路線の認定について	原案可決
議案第13号	指定管理者の指定期間の変更について	原案可決
認定第1号	平成21年度印西市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	平成21年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	平成21年度印西市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	平成21年度印西市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	平成21年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	平成21年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第7号	平成21年度印西市水道事業会計決算認定について	認定
認定第8号	平成21年度印旛村一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第9号	平成21年度印旛村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第10号	平成21年度印旛村老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第11号	平成21年度印旛村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第12号	平成21年度印旛村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第13号	平成21年度印旛村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第14号	平成21年度印旛村水道事業会計決算認定について	認定
認定第15号	平成21年度本埜村一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第16号	平成21年度本埜村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第17号	平成21年度本埜村老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第18号	平成21年度本埜村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第19号	平成21年度本埜村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第20号	平成21年度本埜村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
報告第1号	平成21年度継続費精算報告書について	報告
報告第2号	専決処分の報告について	報告
報告第3号	専決処分の報告について	報告
報告第4号	平成21年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
報告第5号	専決処分の報告について	報告
同意第1号	印西市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	同意
同意第2号	印西市教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	同意
選挙	印西地区消防組合議会議員の選挙 斎藤光彦	当选
選挙	印旛利根川水防事務組合議会議員の選挙 小那木武男	当选
請願第22-2号	国道464号北千葉道路早期部分開通に関する請願	取り下げ
請願第22-3号	私立幼稚園通園児にかかる教育費負担軽減のための補助金交付を求める請願書	採択

決算審査特別委員会 審査報告

決算審査特別委員会の審査における主な質疑及びその答弁について要約して掲載します。

印西市一般会計について

質疑 市で発行している「広報いんざい」が、全ての世帯に届いているか調査し把握しているか。また、転入者への配慮はしているのか。

答弁 「広報いんざい」の配布方法は、新聞折り込み、戸別投函のほか、各市の公共施設、市内のJ.R、北総線の各駅、印西警察署、郵便局、東京電機大学、イオン、ホテルマークワンなどにも広報紙を置き、できるだけ多くの方

に読んでいただけるように配慮している。なお、配布の調査はしていない。転入者には、転入時にチラシを渡している。

印西市特別会計について

質疑 国民健康保険事業財政調整基金は、旧印西市分より旧印旛村、日本埜村の2村の方が多い状況だが、合計約8932万で足りている状況なのか。

答弁 国民健康保険事業財政調整基金は、通常考ええると給付費の1カ月分、約3億7千万円ないと、運用は難しいと思っている。

平成21年度末の下水道の普及率は。 印西市全体の普及率として、79.5%である。

質疑 介護保険認定者を除く65歳以上の全市民に生活機能評価基本チェックリストを実施したとあるが、その結果を次年度へどう生かすのか。

答弁 返ってきたチェックリストで特定高齢者の状態かどうかを判定し、特定高齢者に判定された方々には介護予防の事業に参加してもらい、要介護状態にならないような事業を実施している。高齢者筋力向上トレーニング、閉じこもり、うつ、認知症の予防支援事業などにも参加していただき、要介護状態にならないよう事業を実施している。

印西市水道事業会計について 都市再生機構の土地利用の変更により支障が生じる箇所の導水管を撤去し、新ルートに布設替え工事を実施したとなっているが、どのようなものであったか。

答弁 導水管の場所は、千葉ニュータウン区域内21住区の中にある既設導水管の撤去、新設である。これについては、21住区の土地利用計画が変更になり、従前から別所の井戸から平岡の配水場まで導水していたが、土地利用計画の変更により支障が生じたため、都市再生機構から設計費、工事費、事務費などをいただき、財源つきで印西市が施工したものである。

印旛村一般会計について 印旛村の管理運営業務委託について、当該施設の利用状況と今後の見通しについて

質疑 印旛村の管理運営業務委託について、当該施設の利用状況と今後の見通しについて

答弁 印旛村の管理運営業務委託については、平成21年度の利用者は、205名である。なお、今後の見通しについては、本年度に入り若干入館者数は、伸びてきている。引き続き啓発などを行い、入館者の増につなげるよう検討していく。

被保険者数について、医療費がかさむ傾向にある前期高齢者の方の割合が旧市村の中でもやはり高いと認識している。

質疑 委託料において、岩戸地区公共下水道施設建設工事委託とあるが、これは新設なのか、改良なのか。

答弁 岩戸地区において新たに下水道管を布設したもので、下水道公社に工事費を含め委託したものである。

質疑 脳健康教室については、3市村とも共通して行っているのか。

答弁 脳健康教室は、旧印旛村で実施していたものである。平成22年度は、新市において脳健康教室を新規で実施する。

本埜村特別会計について 人間ドックの助成による効果はどうであったか。

質疑 人間ドックの助成による効果はどうであったか。

答弁 人間ドック受診補助が30件で60万円である。なお、かなり前から脳ドックを実施し、住民への周知もある程度行き届き、受診率も上がってきていると認識している。

水道事業にかかわる公債費について、492万7248円とあるが、この下水道事業にかかわる公債費の高はどのくらいか。

質疑 水道事業にかかわる公債費の高はどのくらいか。

答弁 元金については、償還未済残高で、5241万5767円。利子については140万6645円になっている。

介護相談員を介護サービス事業所などに派遣し、サービス利用者からの相談を受けたとあるが、実際にどのような相談があつてどう対応したのか。

質疑 介護相談員を介護サービス事業所などに派遣し、サービス利用者からの相談を受けたとあるが、実際にどのような相談があつてどう対応したのか。

答弁 相談の主な内容は、生活環境、介護保険制度の内容、健康や医療などである。その内容について介護相談員は、県の研修会などに参加し、情報などもたくさん持っていることから、適切な対応をとっていると聞いている。

本埜村一般会計について 合併処理浄化槽について11基設置されたが、設置率

質疑 合併処理浄化槽について11基設置されたが、設置率

はどの程度まで進んでいるか。

答弁 合併浄化槽自体の普及率は約6割であり、今後とも普及に努める。

本埜村一般会計について 合併処理浄化槽について11基設置されたが、設置率

質疑 合併処理浄化槽について11基設置されたが、設置率

はどの程度まで進んでいるか。

答弁 合併浄化槽自体の普及率は約6割であり、今後とも普及に努める。

一般質問

平成22年第3回定例会では開会日から6日間、25人の議員による個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。

個人質問

なぜプール開放中止？ 滝野バスの執行を早く

山本 清

質問1 小学校の夏休みのプール開放が今年からなくなった。子どもたちの落胆が大きい。学校ごとの需要をきめ細かく把握し、継続の努力をするべきではなかったか。

教育部長 利用人数や民間施設の近年の充実などを総合的に判断して中止となった。

質問 民間施設、つまり(株)ジョイフル本田やイオン(株)にあるスポーツクラブは、月に数千円を出せる子どもだけが利用できる施設だが、プール開放の代替になるのか。プール開放を来年から再開する余地は。

答弁 中止ということになったのでご理解いただきたい。
質問2 滝野循環バス廃止について。木刈や高花と同じように、循環バスがあるから住民は滝野にきた。バス廃止に住民が同意したという記録、町内会の総会や班長会などの機関決定の記録はあるのか。

企画財政部長 そのような詳細な記録は把握していない。
質問 私も調べてみたが、

やはり住民同意はない。そしてバス復活予算は本埜村、印西市の議会を通過した。予算を早く執行するべきである。

個人質問

ニュータウン事業の 収束までに

増田 葉子

質問 平成25年度末のニュータウン事業の収束とは、新住法による開発・建築規制がなくなることを意味する。新住法では土地が処分されると何らかの建物を建てなければならぬはずだが、千葉ニュータウン中央駅に最近できた平面駐車場は問題ないのか。

都市建設部長 本設利用されるまでの暫定で、問題はない。
質問 本設利用されるのはいつで、何が建つ予定か。

答弁 5年以内の本設化で、平成27年3月までに、社会福祉施設等として処分された。
質問 本設利用のときはニュータウン事業は収束し、新

答弁 今、公共交通活性化協議会の中でも検討していて、住民ニーズを踏まえ検討していく。
その他の質問

・北総線の時間距離と運賃
・旧草深小学校体育館の利用
中止問題など

住法の規制はない。仮に予定が変わったとしても規制できないのではないのか。

答弁 新住法の中の約束だが、収束後もUR都市機構は存在するので約束は生きていると思う。

質問 願望が含まれている答弁と感じる。新住法に代わる規制をどう考えていくのか。

答弁 地区計画を条例化して建築を規制していきたい。
質問 どのようなスケジュールで条例化を進めるのか。

答弁 ニュータウン事業収束までを目標に検討していく。
質問 あと3年半。これからスケジュールを検討するのか。

答弁 26年度から条例が施行できるよう検討していく。
その他の質問

・病院誘致問題、残土問題への対策、クリーンセンターの候補地

個人質問

高齢者(ひとり暮らし・認知症他)の支援を

山田 喜代子

質問1 ①高齢者の要求は把握しているか。②配食サービスの利用状況、また配食サービスの市直営で実施の考えはないか。

健康福祉部長 ①独居高齢者など訪問し在宅サービスに関する事や生活全般に対応している。②7月利用で98件、

健康福祉部長 ①独居高齢者など訪問し在宅サービスに関する事や生活全般に対応している。②7月利用で98件、

安否確認、食生活の改善に役立っている。③小中学生は夏休みが適当と思う。来年度実施に向け関係課と協議、検討する。

市長 ②配色サービスはNPO法人などの皆さんが対応

すれば市としての補助は考えられる。
質問2 北総線の運賃値下げは京成電鉄(株)と北総鉄道(株)の責任で。運賃設定は不合理で不公平だ。京成の資料には「北総鉄道が千葉ニュータウン鉄道へ支払う線路使用料はニュータウン鉄道の累積損失が解消するまで」と明記されている。遅くない時期に損失の解消が可能になれば北総鉄道からの線路使用料が大幅に減額され、運賃引き下げに回せるはずだ。

企画財政部長 線路使用料は国土交通大臣が認可した。指摘の点もふまえ県と沿線市と共に頑張る。
その他の質問

・地デジ放送の情報格差は
・スズメ蜂巣駆除の市民負担

質問1 農地を荒らす猪対策について
環境経済部長 猪被害は主に印旛地区及び本埜地区で水稲や様々なものに被害が出て

いる。駆除は市内の猟友会に委託して実施している。今年4月から7月末まで44頭を駆除した。水稲被害の補償は農業共済の対象となり減収分の

7割の補償と伺っている。

質問 猟友会の皆様の朝晩の罾の見回りや餌の交換など非常に大変だと思いが猟友会との連携、捕獲場所について

答弁 猟友会が大変なことは認識している。猪の駆除は免許が必要なため猟友会に委託し、捕獲場所は印旛瀬戸地区37頭、本埜滝地区7頭。猪被害が急激に増加しているため、本議会で増額補正し、罾などを増やし、被害の軽減に努め市民への広報も行う。

質問2 日本埜村から繰越した工事の執行状況について

都市建設部長 土木管理課の引継ぎの14件、内未着工1件は荒野地区路肩改修工事で9月中旬完了予定。建設課引継ぎの4件、内未着工2件は、物木滝線と208号線(荒野地先)で10月頃着工予定。

質問 県道の渋滞がひどく物木滝線の日も早い全線開通が望まれているが対応は。

答弁 用地買収完了に鋭意交渉し、早期開通出来るよう努力している。また県道臼井印西線に右折レーンが必要のため県と調整している。



有害鳥獣駆除を実施

個人質問

地域・産業振興について

藤代 武雄

質問1 成田新高速鉄道開業に伴っての地域振興などに

ついて伺う。
市長 成田空港と千葉ニ

ータウンが直接結ばれ、さらにポテンシャルが高まる中で磨く資源、つくる資源、発掘する資源の3つの資源をもとに人を呼び込み、地域振興及び産業振興へつなげていきたいと考えている。具体的には大型商業施設への集客、外国人観光客の獲得も重要と考え調査を行っている。

質問2 地域資源と観光振興策について伺う。

環境経済部長 磨く資源には人を呼び込む資源がある。つくる資源は、新たな名物や名所をつくる。発掘する資源は、時代のニーズに合わせた

自然環境の整備などにより、新たな印西市の魅力を生み出すものである。3つの資源を戦略的に報道し、広報を行うことが重要であると考えている。

質問3 有害鳥獣駆除対策について伺う。

環境経済部長 今後、さらに農作物の被害状況を調査し猟友会と連携を図り被害防止対策協議会を設立し、国、県の補助を受け効率的な駆除を実施していきたい。

その他の質問
・幼児教育と子育て支援について
・生涯スポーツの振興について

個人質問
市道の整備と高齢者福祉について
齋藤 光彦

質問1 市道の整備について①高花六丁目バス通りの通過車両による振動・騒音被害

②歩道の樹木剪定の管理の前進し実施について

都市建設部長 ①路面の破損による騒音・振動は、自治会よりいただいた調査結果を踏まえ、現場の状況を把握し、今年度中に補修工事を実施する予定である。

②高花六丁目バス通り歩道の樹木剪定については、10月から11月にかけて実施する予定である。

質問2 高齢者福祉政策について①100歳以上の所在確認②独居老人の現状把握と対策について

市長 ①市内の100歳以上

上の方は、現在17名で、2名が特別養護老人ホーム、1名が老人保健施設、1名が有料老人ホームに入所し、2名が病院に入院中。その他8名が在宅で、介護保険サービスや後期高齢者医療を利用している。最高齢者は106歳の女性で、施設に入所している。

②地域住民の異変の早期発見を目的に、市内などの新聞店10社と「新聞受けの異常情報の提供に関する覚書」を交わし、孤独死の防止などに協力をいただいている。その他、民生委員の見守り活動として、独居高齢者及び高齢者のみの世帯に対し年1回自宅を訪問するとともに、災害時などの

個人質問
木下駅圏の諸課題について
板橋 睦

要援護者避難支援ネットワーク・あんしんアイネットを説明し登録の推進を図っている。

その他の質問
・千葉ニュータウン事業、印西市の観光行政

質問 木下駅圏の諸課題について、印旛高校の跡地活用について

市長 印旛高校跡地活用については、昨年度市民会議を設置し、印旛高校跡地活用提案書としてまとめていただいた。その後市民会議からの跡地活用提案書、市民アンケート、庁内における公共施設等の導入要望などを踏まえ跡地活用の実現化方策の作成を進めているところである。現在まで農場・ハウス部分の施設・設備など専門家にヒアリングをしながら詳細を把握するとともに、グラウンド部分の活用、校舎がある高台部分の活用、木下万葉公園に隣接する部分などについて、それぞれ庁内関係各課や関係者と

協議を進めている。
その配置を検討するために必要最低限の水道、下水道、電気などのライフラインや、アクセス道路、管理用通路、駐車場などについて検討を進めているところである。

その他の質問
・病院問題について(医療法人社団正徳会の進捗状況・医療法人緑生会の進捗状況)
・印西クリーンセンターの進捗状況について
・木下駅圏の諸課題について(木下駅北口広場整備・樽池整備・(株)日本デキシ)

個人質問
合併申請後の公有財産の処分は適正か
海老原 作一

質問 合併の知事申請後に日本埜村が行った旧公民館の財産売却に問題はなかったか。

総務部長 合併までの間、村は存続しており旧日本埜村の判断で売却されたこと認識している。

質問 譲与申請から9日後に契約が行われたが急いだ理由は。

答弁 新市に引き継ぐ事務処理が残らないよう配慮した



9月26日に行われたデモスポ行事ティーボール

都市建設部長 道路防災点検の結果、架けかえが必要とのことから今年度橋梁の設計を行い、早急に事業の着手を図る。

質問2 ナガエツルノゲイトウの異常繁茂の抑制策について

環境経済部長 非常に繁殖力が強く、特定外来生物に指定されている植物で、駆除方法は、人力で刈り取り焼却処分のため、地道な刈り取り駆除となり苦慮している。

質問3 印旛沼自転車道は、八千代-佐倉-印旛一本桝-栄と一方向に整備されているが、吉田地区の阿宗橋から山田地区の双子橋の間を整備して周回出来るようにする考えはないか。

市長 県の事業で県としての考えは無いと伺っているが、印西市としても佐倉市側と比べ印西市側の未整備の状態が目立つため、継続して県へ要望していく。

質問4 飲酒運転の撲滅対策について

市民部長 撲滅のための取り組みを粘り強く継続していく事が大切。広報啓発活動や、ハンドル・キパー運動を推進し、飲酒運転を許さない社会環境づくりに取り組んでいる。

その他の質問
・河川環境整備事業の結果
・湖沼水質保全特別措置法の改正で印旛沼ではどのような対策が行われたか。

個人質問
印旛沼を取りまく問題と交通安全について
馬場 広

質問1 舟戸大橋の安全対策について

質問 譲与決議書が決議される前に登記委託の契約がなされているがこれは適正な事務か。

答弁 日本埜村の判断で行われたものと認識している。

質問 一般競争入札により売却処分を行わなかった理由は。

答弁 旧本埜村財務規則に規定がなく、申請者以外に対象者がいないと判断した。

質問 売却価格である適正な時価をどう算定したのか。

答弁 土地、建物の売払い価格から建物解体費用を相殺し売買契約額を算出した

質問 解体費用の額が市中実勢価格の数倍となっているが、受注業者の算定したものである。

答弁 解体設計の業務委託

質問 適正事務のため市有財産処分委員会の設置について

答弁 検討しなければならぬと認識している。

質問 普通財産売却い事務取扱要綱の必要性について

答弁 事務の取扱についてのガイドラインとなる要領などの制定を検討していく。

その他の質問
・高齢者・子どもの交通安全対策、歩行空間の安全確認、歩道の整備について

と聞いています。

質問 譲与決議書が決議される前に登記委託の契約がなされているがこれは適正な事務か。

答弁 日本埜村の判断で行われたものと認識している。

質問 一般競争入札により売却処分を行わなかった理由は。

答弁 旧本埜村財務規則に規定がなく、申請者以外に対象者がいないと判断した。

質問 売却価格である適正な時価をどう算定したのか。

答弁 土地、建物の売払い価格から建物解体費用を相殺し売買契約額を算出した

質問 解体費用の額が市中実勢価格の数倍となっているが、受注業者の算定したものである。

答弁 解体設計の業務委託

質問 適正事務のため市有財産処分委員会の設置について

答弁 検討しなければならぬと認識している。

質問 普通財産売却い事務取扱要綱の必要性について

答弁 事務の取扱についてのガイドラインとなる要領などの制定を検討していく。

その他の質問
・高齢者・子どもの交通安全対策、歩行空間の安全確認、歩道の整備について

個人質問

待機児童と待機老人の 解消に向けて

中澤 俊介

質問 合併後の本市における待機児童の発生状況について伺う。

市長 合併後の市内保育園は、公立が7園、私立が5園の、計12園で保育を実施している。定員は公立670人、私立395人の計1065名に對し、入園者数は8月1日現在で公立667人、私立427人の計1094人となり定員を超えているが待機児童は発生していない。

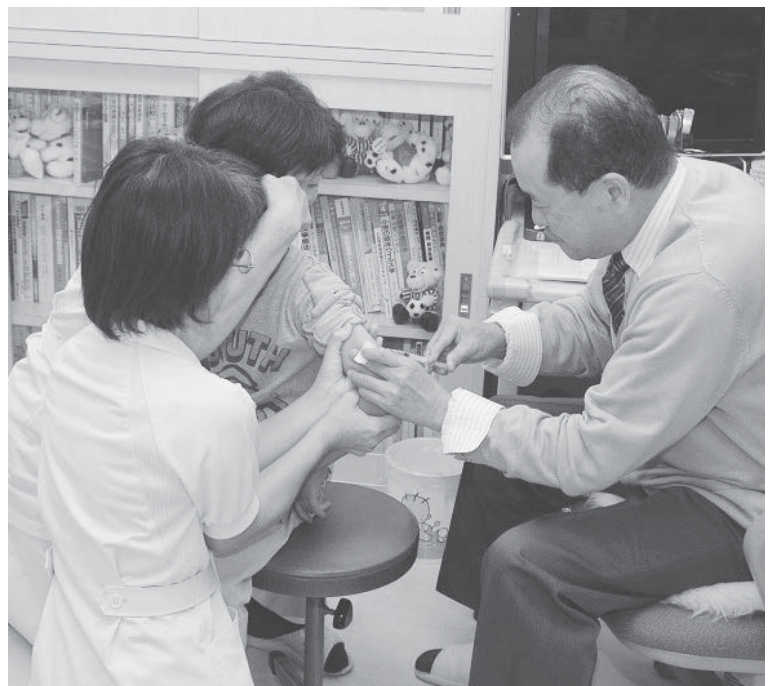
課題は、住宅開発や女性の就業意向の高まりとともに、保育サービスが適正に提供されるよう、質の向上と施設の整備など、良好な保育環境を確保したいと考えている。

質問 介護施設の現状は。
健康福祉部長 特別養護老人ホーム(以下、特養)は4箇所300床あるが、すべて

満床となっている。7月1日現在で、特養の入所待機者は209名となっており、課題は、入所希望者が多く、待機者の解消が難しい中、要介護者の解消にならないための介護予防事業の推進、要介護認定になっても在宅で介護できるようなサービスの充実が必要である。

質問 入所を待っている高齢者の解消に向けた施設整備について伺う。
健康福祉部長 千葉県が推進する広域型の特養では、特別養護老人ホームみどり荘20床、特別養護老人ホームハーフトヴィレッジ80床の増床を進めている。また、介護付き有料老人ホームや地域密着型の小規模特養、認知症対応型グループホームの施設整備を計画している。

質問 子宮頸がんは、ワクチン接種と予防検診でほぼ100%防げる。「子宮頸がんゼロ」へ向けて細胞診に加



ワクチン接種により感染症を予防

いては、許認可権を持つ県にお願いをし、県に働きかけていく。

質問 正徳会は、印西市民や市議会に説明する責任があるのではないかと。

答弁 はっきりしていない段階では、市民や市議会に説明できないと言っている。

質問 市民は、早く立派な総合病院が出来るのを待ち望んでいる。市民のこともっと真剣に考えて欲しい。市行政として、総合病院をつくるやる気の程を伺う。これから少子高齢化はどんどん進む。

答弁 検討委員会の中に市民代表がいるので、組合の中で協議してきているという認識である。

一番大事なのは体育館ではなく総合病院を早くつくることだ。しっかりと頑張ってもらいたい。

質問2 クリーンセンター次期中間処理施設建設計画について、市民参加が条例化されている。多くの市民の参加を求め、市民によく説明し進めるべきではないか。

答弁 検討委員会の中に市民代表がいるので、組合の中で協議してきているという認識である。

個人質問

教育課題について

小川 義人

質問 教育課題について

①中一ギャップについて

教育長 ①小学校から中学校への生活環境の変化に適應できず、不登校となる「中一ギャップ」の解消を図るため、

小・中学校のきめ細やかな連携と対応が重要になる。各学校において、入学前に小・中連絡会議を実施し、小学校での学習や生活状況等の情報交換を行い、中学校での適切な受け入れができるように努めている。また、児童生徒や保護者が気軽に悩みなどを相談できる体制づくりに努めている。今後、小・中学校の円滑な連携を図り、「中一ギャップ」の対応に努めたい。

②印西市においては、現行の教育制度を引き続き展開している。同一の小学校の卒業生がそのまま一つの中学校に進学するようになっていて、施設は別々であるが、小中一貫校に近い形態になっている。以前より、子どもたちが小学校から中学校への円滑な接続が図られるように、小・中連携事業を実施し、小中一貫教育に劣らない体制づくりの構築に努めている。学習面では、交流事業や指導方法等の共通理解を図り、生活面では合同事業や交流事業等を展開している。今後、子どもの豊かな成長に視点を置いた教育活動を通じて、9カ年の義務教育の充実に努めていく。

個人質問

ワクチン接種の 公費助成開始へ

浅沼 美弥子

質問 子宮頸がん、細菌性髄膜炎、肺炎などの病気から、女性、子ども、高齢者を守る各種ワクチンは高額で、市民の公費助成への要望・期待は大変に大きい。これまで議会

質問、要望書提出、請願の紹介議員、平成22年8月には小

児科医会から市長への要望書提出の橋渡しなどを行ってきた。来年度予算編成にあたり、これらワクチンの公費助成に着手すべきと考えるが見解を伺う。

市長 厚生労働省の発表では、ヒブワクチン204、小児

個人質問

病院問題について

板倉 正直

質問1 医療法人社団正徳

会が病床配分を受けてから1年7カ月経過しているが未だに開設許可申請書を提出できない重大な理由があるのか。

健康福祉部長 資金確保が

っていない。病院開設許可申請書についても、8月末日までの期限に提出されていない。

質問 このような医療法人を選定した市当局に責任があるのではないかと。

市長 今後の指導監督につ

印西市議会 会議録の検索と閲覧



会議録がインターネットで閲覧できます

ホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/inzai/inzai.html>

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約してあります。今までの会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。

なお、従前どおりの会議録の閲覧も次の場所で閲覧できます。第3回定例会の会議録は、12月上旬頃閲覧開始予定です。

- ◇議会事務局(市役所5階)
- ◇行政資料コーナー(市役所1階)
- ◇支所(印旛・本埜)
- ◇市内図書館6館(大森、小林、小倉台、草深、印旛、本埜)

個人質問

歴史資料の保管整理と公開

松本 隆志

質問 合併した旧3市村が収集・確認した古文書などの点数は、どのくらいあるのか。また、今後、どのように活用していくつもりなのか。

教育部長 旧3市村の編さんで収集・確認した古文書などは、史料目録などで確認した結果、約5万3千700点である。

この内、市が保管・保有しているものは、約4万6千100点である。

また、この外に、毎年廃棄される公文書から、歴史的、文化的資料となる歴史的文書を収集しており、現在文書保存箱で1千335箱程ある。

これらを保管している資料整理作業所と印旛歴史民俗資料館の収蔵スペースが満杯の状態であり、公開をするための十分な展示スペースを確保できない状況となっている。

質問 歴史資料を一括管理するための保管・展示・公開場所を、新たに確保する考えはないか。

教育部長 利用者の利便性の向上や人件費・維持管理費など経費の合理化を考慮しても、一つの施設内で歴史資料の一括管理を行うことが理想である。(現在ある市の施設の)用途変更など既存施設の利用を含めて、検討する。

個人質問

生活道路及び新規道路等について

織原 拯

質問1 市道1001号線、中田切から水神社までの拡幅、市道103号線、本埜第2小学校から戸崎の県道までの拡幅について

市長 補助金が活用出来ないことから市の単独費で整備することとなり、整備時期は言えないが、本埜地区の重要な幹線道路と認識しており、財源などを考慮し調整したい。

質問2 竜腹寺の市道1097号線の舗装について

都市建設部長 破損による全面打ち換えの必要性は見受けられない為、必要に応じて部分的な補修を行いたい。道路上のぬかるみについては、雨天時に現地を確認し対応したい。

質問3 市道208号線、中根から荒野の坂下までの道路拡幅について

都市建設部長 新市に引き継がれた工事で、10月頃に着手したいと考えている。

質問4 市道物木・滝線改良工事について

都市建設部長 計画道路と隣接地との高さの取り合いなどの調整を行い10月には着手したい。

質問5 滝地区の県道歩道設置について

都市建設部長 印旛地域整備センターに確認したところ平成24年度完了予定で、今年度から用地取得を行っている。

質問6 夏休みの学校プール開放について

教育部長 利用人数の減少や民間施設の充実による環境の変化など総合的に判断し、中止した。

個人質問

動植物・農地の保全策

武藤 邦芳

質問 国や県の基準では規模の大きな事業しか環境影響評価の対象にならない。市独自に規模の小さな開発を対象にする条例を制定する考えはないか。

環境経済部長 市町村レベルでの対応はかなり困難なため市で独自の基準を制定する予定は現時点ではない。

質問 希少な動植物の存在する地域を指定して規制をかける考えはないか。

答弁 保護地域の設定は個人の所有地に対して縛りが発生することから地元住民の意見を踏まえながら慎重に検討する必要があると考えている。

工事などの規制をかけることは難しいと考えている。

質問 土砂などの埋立てなどに対する規制で検査試料の採取調査や地質分析結果証明書が本場にある場合採取されたものという確認はされているか。

答弁 検査の内容については信用していくものだというように認識している。

質問 土砂などの埋立てで他所の自治体との違反業者の把握・情報交換は行われているか。

答弁 必要性については認識しているがなかなか難しい現状。今後検討していきたい。

個人質問

答弁の検討からぜひ実現に向けて

上條 公司

質問1 防火貯水槽の配置と高台地区の火災対策は十分か。

市長 消防水利の確保は不十分。迅速な行動に努めている。

総務部長 竹袋の稲荷神社付近は、市営水道区域外のた



市内を循環する「ふれあいバス」



《議会を傍聴してみませんか》

次の定例会は、11月29日(月)~12月22日(水)の会期予定です。開会は10時からとなりますので、5階議場にお越しください。なお、都合により変更になる場合もあります。詳細については、お尋ねください。印西市議会事務局 0476-42-5111 (内線607・608)



ご意見・ご感想をお寄せください!



議会だよりを読んで感じたことなど、皆さまのご意見をお待ちしております。〒270-1396 印西市大森2364-2印西市議会事務局 TEL: 0476-42-5111 (内線607・608) FAX: 0476-42-5299 Mail: gikai@ml.city.inzai.chiba.jp

個人質問

行政組織の検証と
高齢者所在不明問題等

金丸 和史

質問1 合併後約6カ月経過後の行政組織改変に関すること①適正であったかの検証

健康福祉部長 ①100歳

②情実人事と思われるための昇進などにおける試験の導入③「提案制度」の活用状況と報償制度の導入について

総務部長 ①概ね適正配置ができたものと考えている。②今後、昇進のあり方について調査研究していきたい。③ここ数年は活用されていない状況で、職員への周知を再度行うとともに、報償制度については前向きに検討したい。

質問2 高齢者の所在不明問題についての印西市の対応①調査の結果について②行政の責任として100歳未満の調査を実施すべきと考えるが、その実施について③個人情報

環境経済部長 駅単位の調査を実施すべきと考えるが、北総線の運賃問題・有価物持ち去り他

質問3 「歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例」で、重点区域の中央駅以外の拡大について

雨宮 弘明

北総線運賃問題
活性化協議会の早期設置を

質問 県、沿線6市(市川市、松戸市、鎌ヶ谷市、船橋市、白井市、印西市)、京成電鉄(株)、北総鉄道(株)による「合意」で、「地域公共交通の活性化再生法」に基づく「活性化協議会」を設置することになっている。まだ実現しないのか。

企画財政部長 引き続き県と協議を進めている。質問 その法律の規定では協議会の構成員は関係市町村だ。従ってこの問題では沿線6市で協議し設置することになる。形は合併協議会と同じだ。県や国交省は必要に応じて助言する立場だ。

回答 これまで県のリーダーシップで進められて来たの

で、県も交えてやっていきたい。

質問 合意が成立したのは平成21年の11月のことでもう10ヶ月も経過している。印西市と白井市の2市で補助金の77%を負担するのだから、2市がリーダーシップを発揮すべきだ。

回答 成田スカイアクセスの開業で成田市にもつながるので、成田市も含め県と協

議していきたい。質問 この協議会は、国交省の認可による法定協議会であり、鉄道事業者も参加するし利用者の代表もメンバーになれる。早く設置して大幅値下げにつながる対策を協議して欲しい。

市長 議員の皆さんの提言協力も得て、第二、第三の値下げに踏み出したい。

個人質問

次世代育成支援
対策推進について

酢崎 義行

質問1 次世代育成支援行動計画前期の成果と今後の課題、後期の重点施策について

市長 主な成果としては、駅圏子育て支援センターの整備、乳幼児医療費助成事業、「子育て応援フェスティバル

西」の開催がある。今後の課題としては、急増する保育サービス需要に対する受け入れ体制の充実、育児の孤立化や育児ストレスに陥らないよう、きめ細かな子育て支援サービスの提供体制への取り

組みが必要である。

健康福祉部長 後期計画の重点施策としては、「保育サービス提供体制の確立で待機児童ゼロ」、「在宅子育て家庭の支援」、「ゆとりある子育ての支援として子育てヘルプサービス事業」、「子ども医療費助成事業の一部負担額の引き下げと所得制限の廃止」の4事業としている。

質問2 地域子ども会活動への支援について

教育部長 現在、市内には45の単位子ども会がある。その上に旧市村を単位とした支部、それを統括する印西市子ども会育成連絡協議会がある。市は、協議会に補助金交付、後援、共催、支部も含めた事務的支援を行っている。

その他の質問

質問1 面積が広くなり移動手段が懸念され、交通便利性拡充と支援など急ぎ求められる。

質問2 残土問題は広範囲に影響し深刻に、条例改定含

質問3 最近の気候変動か

個人質問

教育関連事項

山下 兼男

質問1 「幅広い知識と教養を身につける」ことが教育基本法の改正で定められた。

教育長 「健やかな心と体を育む教育」を教育施策の基調とし、「さらに輝く子ども育成事業」「きめ細やかな指導や体験学習の導入」「外部人材の活用を図る学習指導の充実」A L Tの配置で英語教育の強化を図る「国際理解教育推進事業」などを実施している。これらの事業を推進するには学校、家庭、地域連携強化が重要と考えている。

質問2 平成22年4月の全国学力調査の結果について千葉県平均正答率をどのよう

質問3 秋田県は平均正答率はトップである。要因は。

教育部長 きめ細かな教育指導、朝食や夕食を家族と一緒に取り規則正しい生活をすることが、子供の情緒の安定と学力の向上につながっているとわれている。

その他の質問 北総鉄道への補助金問題・ワクチン接種助成問題・電波塔建設問題

質問1 面積が広くなり移動手段が懸念され、交通便利性拡充と支援など急ぎ求められる。

質問2 残土問題は広範囲に影響し深刻に、条例改定含

質問3 最近の気候変動か

利便性、残土、
水害対策などについて

石井 文夫

質問1 面積が広くなり移動手段が懸念され、交通便利性拡充と支援など急ぎ求められる。

質問2 残土問題は広範囲に影響し深刻に、条例改定含

質問3 最近の気候変動か

質問1 面積が広くなり移動手段が懸念され、交通便利性拡充と支援など急ぎ求められる。



芝生で秋晴れの中お庭でランチを楽しむ

らも、特に豪雨による水害の発生が考えられる。被害を最小限に抑えるべく危険箇所点検の充実、新市の内水面ハザードマップ作成、地域に密着した消防団の育成など急がれる。

総務部長 近年各地で集中豪雨が発生している。被害を最小限に、特に局地的な豪雨対策としてのパトロールや周

個人質問

安心安全なまちづくり

橋本 和治

質問1 先の第2回定例会で、私はエリアメールを提案し、山崎市長は「導入に向けて検討するように事務方に指示したい」と答弁した。その後の進捗状況はどうなっているか。

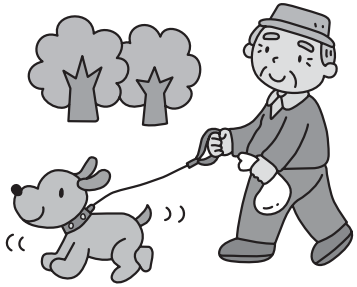
市長 平成23年度からの導入に向けて作業するよう事務方に指示した。

質問2 災害時に市民に必要となる防災マップだが、新市全体のマップの速やかな完成が待たれる。新市のマップの完成予定はいつか。

総務部長 できるだけ早く作成したいが、当面は合併前の防災マップなどをホームページ上で掲載し、対応したい。

質問 合併から間もなく半年になるが、市のホームページに掲載されているマップ類はいまだに旧印西市の分だけ。旧印旛村、日本笠村の分が掲載されるのはいつか。

答弁 現在、合併後の地区



個人質問

ニュータウン事業収束
ひとつに優しい街づくり

松尾 榮子

質問1 千葉ニュータウン事業の収束と今後のまちづくり①土地処分状況と未買収地は、②土地処分の価格設定は、現社会情勢下の企業の体力に合わせたものになっているか。

都市建設部長 ①印西市域の未処分地は約350ha。用地取得は6月末現在で99.7%。未買収地は印西市域で1.2ha。②価格は募集単位ごとに販売時点の不動産鑑定による時価評価額を基に決定。適宜見直しを実施している。

質問2 子育て優先都市の実現に向けて。市の開発行為等指導要綱の対象施設に、子育て支援施設も加える考えは。

健康福祉部長 指導要綱に加え、市には多数の独身者

質問 市には多数の独身者

があり、また千葉ニュータウンなどの第二世代が流出している。新入居の促進ばかりでなく、若い世代が住み、働き、結婚し、子育てできるまちづくりに取り組むべきでは。

企画財政部長 現在策定中の次期総合計画の中で、若年層の流出防止や定住化についても課題の一つとして捉え、若者同士の交流機会の創出や就労機会の確保、住宅施策などに取り組んでいく。

その他の質問
・合併後の財政状況
・防災体制
・高齢者・障害者が安心して暮らせるまちづくり
・市民のスポーツ振興と交流・健康づくり
・私立幼稚園就園補助について

いる。それに加え、旧市村の垣根を取り払い、早急に一体感を醸成するための取り組みとして、市民の皆さんが自ら企画立案・実施する合併記念事業を公募したところであり、職員に対しても、1市2村のそれぞれの地域の持つ魅力や財産を結集し、できるだけ早く市民の皆さまが「合併して

個人質問

市長の政治姿勢と
安心・安全のまちづくり

岩崎 成子

質問1 市長の市政運営について伺う。

市長 「市民主体の安心・安全・活力のある街を創る」という市政運営の理念を掲げ、市民の声を耳を傾け、政策のスピードアップ、説明責任を果たすことを常に心に刻み、市民の皆さんの福祉向上のため

いる。それに加え、旧市村の垣根を取り払い、早急に一体感を醸成するための取り組みとして、市民の皆さんが自ら企画立案・実施する合併記念事業を公募したところであり、職員に対しても、1市2村のそれぞれの地域の持つ魅力や財産を結集し、できるだけ早く市民の皆さまが「合併して

よかった」と思えるように、目に見える施策に取り組むよう指示している。

は、自助・共助といった住民相互の活動体制をいかに整えるかが課題となっており、自主防災組織の果たす役割が大きなものとなっている。地域における自主防災組織の更なる防災力の強化と新たな地域防災を担う組織づくりが、防災としての施策展開である。

質問2 防災における安心・安全のまちづくり日本一を目指していく上での施策展開について伺う。

総務部長 消防機関をはじめとする防災関係機関による体制整備が必要であると考えられている。大規模災害に対して

各常任委員会での審査

付託された議案については、所管の常任委員会で審査を行いました。各常任委員会に付託された議案は、9月28日に文教福祉常任委員会、29日に総務企画常任委員会、9月30日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催し、審査されました。

ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた主な議案の質疑及びその答弁について掲載します。

文教福祉
常任委員会

議案第4号 印西市都市公園条例の一部を改正する条例

の制定について(体育館のトレーニングルーム開設による使用料を加えるもの)

質疑 トレーニングルームの目的は何か。また、内容としてマシンはどういったものがあるのか。

答弁 健康づくり、体力づくりなどを目的としたスポーツ施設とし、幅広い年齢層の

方々が気軽に使用できることを考えている。内容としては、ランニングマシン、有酸素運動機器、筋力系機器、ストレッチ用機器の計40台を設置する予定である。そのほか、体脂肪関係、筋肉量を示す機器なども用意する。

質疑 トレーニングルームは、年間何人の利用者数を想定しているのか。

答弁 目標としては、一日100名くらい利用していただけだと思っている。年間約3万人を目安にしたい。

総務企画
常任委員会

議案第1号 印西市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(利用料金を指定管理者の収入とする規定を加えるなど)

質疑 今まで地域住民が運営団体の構成会員となり、コミュニティ醸成のためにその運営団体がコミュニティセンターを運営してきた。そのコミュニティセンターの運営を公募対象として、株式会社やNPO法人で競争により決定するということだが、印西市のものととのコミュニティセンターの設置目的と照らし合わせて検討したのか。

答弁 コミュニティの醸成イコールコミュニティセンターの運営というようには考えていない。基本的には地域でコミュニティの醸成ができる場所の一つに運営協議会があったと考えている。その運営協議会の担い手が少なくなってきたり変えていくよう考えている。企業かNPO法人になったときに、サービスレベルが現在よりも上がると考えているか。

答弁 指定管理者という部分については、事務の効率化、効果的に経費を削減し住民サービスの向上を図るといったのが基本なので、下がるということはないというように考えている。

議案第2号 印西市大森集会所施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について(老朽化に伴い用途を廃止し、集会所施設に建て替え)

質疑 57年前の建造ということだが、どの程度の老朽化であるのか。

答弁 昭和28年ごろに建設していたが、最終的に地域に集会所がないことから、大森集会所として、昭和62年から条例化して使用している。内装、床ともに老朽化しているが、特に配線関係の部分については漏電等の心配もあり、老朽化が進んでいる。

質疑 地域の方にとっては必要な施設と考えるが、当然地元の町内会等と十分合意の上なのか。

答弁 大森集会所の周辺は、平成21年に西笠原の集会所が完成している。大森については、他の場所で建設要望を伺っている状況で、基本的に周辺には地区集会所というような形のものできつつあり、大森集会所については、目的は達したと考えている。

議案第13号 指定管理者の指定期間の変更について(中央駅北コミュニティセンターの指定期間の変更)

質疑 運営協議会と3年契約したが、法人格を持った場合は契約を更改するなり辞退してもらうことになっていたのか。

答弁 法人格を有した場合

は、構成員がかわってしまいう部分と、役員の報酬も取ることができるようになるので、同一の団体とは考えにくい。辞退届けについては、市から提出を求めたわけではない。

建設経済 常任委員会

議案第3号 印西市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(都市廃棄物空気輸送事業の中止に伴う改正)

質疑 条例の施行期日が、平成23年4月1日となっているが、この時期に議案として上げた理由は何か。

答弁 住民周知、企業に対する周知ということ、この時期に条例の一部改正を行うものである。

質疑 設備の撤去は、基本的に市の責任で、市の事業として行うことになるのか。

答弁 事業の主体は印西市で、施設も印西市のものということから撤去に関しても市が主体となって行っていく。ただし、撤去に要する費用については、覚書に基づき都市再生機構に負担をしていただく。

議案第8号 財産の取得について(小林瓜坪台の土地の取得)

質疑 今回取得される道路用地の街区全体の広さはどのくらいなのか。

答弁 街区の面積については、約7.5haである。

議案第9号 業務委託契約の締結について(千葉ニュータウン21住区A街区内道路等整備に係る施行業務委託)

質疑 都市再生機構と随意契約に至った理由は、どういうものなのか。

答弁 随意契約の根拠について、法的には、地方自治法の施行令第167条の第2第1項第2号に該当し、契約の性質または目的が競争入札に適合しないものという解釈をもとに、21住区については、周辺の面的整備と一体的に道路工事も進める必要があることが主な理由である。

議案第10号 工事請負契約の締結について(仮称)千葉ニュータウン中央駅南口自転車駐車場新築工事

質疑 自転車駐車場をつくることは、近隣の人たちには大変利便性があるという事だと思いが、北総線を利用する人には駅へ自動車で行く人もいることから、タワー的な形の駐車場を併設してもいいのではないか。

答弁 併設して自動車の配慮も必要だろうという件については確かに必要だと考えられるが、現状の計画で、市として生活関連施設の整備の中で、駐車場の整備が第一の使用命だと認識している。また、自動車については、民間活力なども含めて検討していきたいかな

議案第11号 工事請負契約の締結について(仮称)印西牧の原駅北口自転車駐車場新築工事

質疑 今現状の駐車場に何台ぐらい使われているのか。

答弁 牧の原北口における現在の都市再生機構の駐車場の利用台数については、約1000台程度ということである。

議案第12号 印西市道路線の認定について(市道路線の認定)

質疑 高花六丁目における認定路線について、周辺道路の出入り口を確保するようにパナホーム側と交渉はされたのか。

答弁 高花六丁目について、出入り口は2カ所あり、001014号線と231005号線の2つである。よって、市から意見は述べていない。

視察研修報告

議会運営委員会

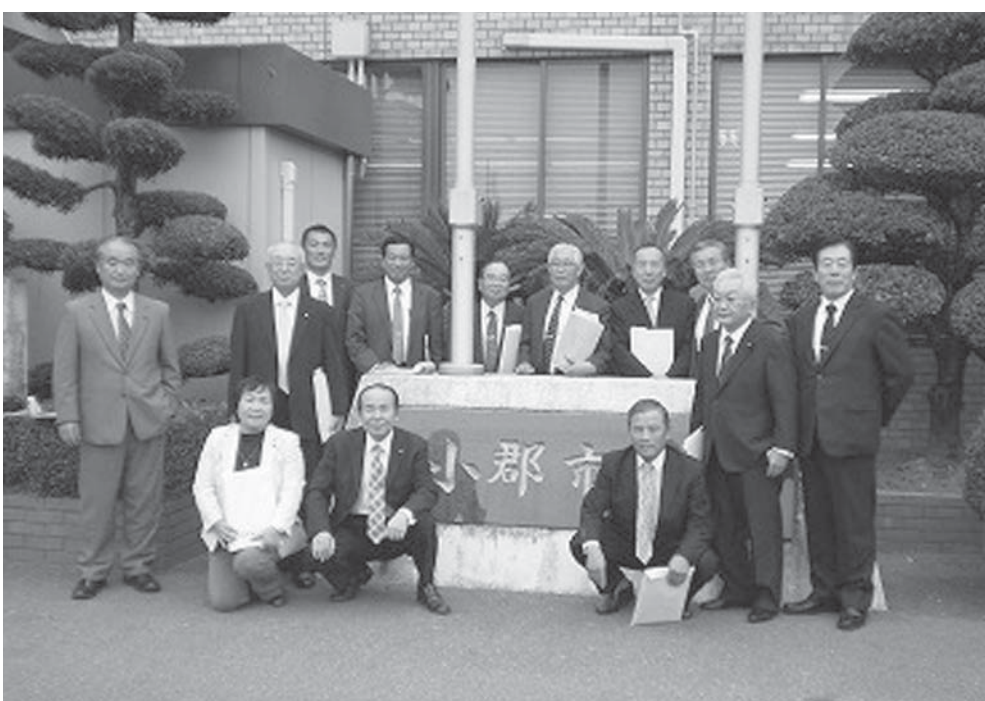
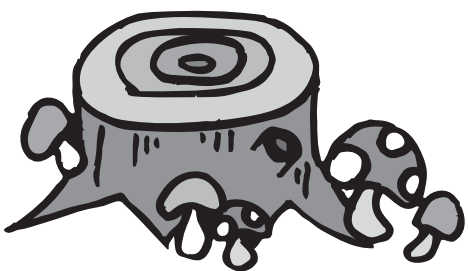
議会基本条例について①条例制定の経緯について②条例制定後の議会活動の動きについて

議会運営委員会では、10月21日〜22日の日程で、議会基本条例制定の先進市である福岡県小郡市、豊前市の2市を訪問し視察を行った。小郡市では、平成20年10月に総務文教常任委員会が全国で初めて議会基本条例を制定した北海道栗山町の視察をきっかけに全議員が制定の必要性を認識し、平成21年10月に議会改革検討委員会が制定を目指すべきであるとの答申をした。平成21年12月に議会基本条例制定を主目的に議会改革特別委員会を設置し、案文の協議を重ね、平成22年2月に全議員の意見を集約後、平成22年3月に議会基本条例を提出し全会一致で可決した。条例制定後の議会活動の動きは、議員相互の自由な討議の導入や議会の活動に関する情報公開の徹底と、市長などが策定する政策、計画、施策または事業について、市長などに政策の説明を求めるなど新たな取り組みを行っている。このことにより議会の活性化が極めて顕著となっている。

期間は平成21年5月から平成22年4月までで、延べ13回会議を開き、平成22年2月には、市民1000人を無作為抽出し議会に関するアンケート調査を実施した。そして、平成22年6月定例会に委員会として提案、平成22年6月22日に全会一致で可決した。条例制定後の議会活動の動きは、アンケート調査の結果を踏まえ、市民参加の促進、情報公開の推進、二元代表制の一翼を担う議会の機能強化と活性化を図るため、議会報告会、請願者・陳情者の意見を聞く自由

討議など、市民に軸足を置いた取り組みを推進中である。今後の課題は、市民にとって身近な議会、分かりやすい議会運営に努めること、基本条例と現行の条例や規則など、議会運営委員会の取決め事項との整合性、各種懸案事項の整理などが課題である。今回の視察研修を総括すると、市民の負託に応える議会活動のあるべき姿として、市民に開かれた議会を目指すことや市民本位の立場での市政運営の監視及び評価を行うことなどの取り組みについて参考となる点が多かった。

副委員長 齋藤 光彦



小郡市、豊前市の2市を視察

請願

▼私立幼稚園通園児にかかる教育費負担軽減のための補助金交付を求める請願書（採択）

公立幼稚園と私立幼稚園の保育料の格差は年々拡大し、保護者の負担軽減が求められている。若い保護者たちが安心して子育てできるまちにするため、①私立幼稚園入園料補助金制度の新設②私立幼稚園通園者の保育料補助金を引き上げるよう要望するもの。

文教福祉常任委員会に付託され、9月28日に審査が行われ、審査の結果採択と決定。10月18日の定例会最終日に委員長報告があり、本会議においても採択と決定した。

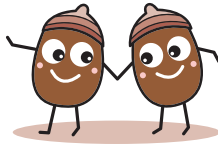
陳情

▼最低基準の改善と待機児童解消・定員増実現のために公立保育所への特定財源の復活などを求める意見書の提出を求める陳情（議員配付）

▼安心・安全な国民生活実現のため、国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書（議員配付）

▼仮称・自然体験観察館及び自然昆虫観察館設置の陳情書（議員配付）

▼北総鉄道（株）に対する株主代表訴訟を求める陳情書（議員配付）



議会日誌

8月

- 9（月） 千葉県後期高齢者医療広域連合議会臨時会
千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
11（水） 印旛沼地区農業農村整備事業推進協議会総会
25（水） ニュータウン等対策特別委員会
26（木） 会派代表者会議
議会運営委員会
全員協議会

9月

- 2（木） 平成22年第3回定例会（～10月18日）
議会だより編集委員会
3（金） 全員協議会
13（月） 議会運営委員会
14（火） 決算審査特別委員会
16（木） 決算審査特別委員会
17（金） 印西地区消防組合議会定例会
21（火） 決算審査特別委員会
22（水） 決算審査特別委員会
24（金） 決算審査特別委員会
27（月） 決算審査特別委員会
28（火） 文教福祉常任委員会
29（水） 総務企画常任委員会
30（木） 建設経済常任委員会

10月

- 6（水） 文教福祉常任委員会勉強会
7（木） 印旛郡市広域市町村圏事務組合議会視察
13（水） クリーンセンター次期中間処理施設整備等特別委員会
14（木） 印西地区環境整備事業組合議会定例会
15（金） 千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修
18（月） 議会運営委員会
19（火） 千葉県市議会議長会定例総会
20（水） 印西地区衛生組合議会定例会
21（木） 議会運営委員会視察（～22日）
26（火） 印旛郡市広域市町村圏事務組合議会定例会
議会だより編集委員会
28（木） 総務企画常任委員会視察（～29日）

お知らせ

請願・陳情の提出はお早めに

請願・陳情書はいつでも提出できますが、平成22年第4回定例会（12月議会）で審議される請願・陳情書の提出期限は、11月19日正午（予定）です。お早目のご提出をお願いいたします。

一般質問の閲覧

平成22年第4回定例会（12月議会）で予定されている一般質問（個人）の内容は、11月24日（水）以降ホームページで閲覧できます。

平成21年度政務調査費収支報告

（平成21年4月～平成22年3月）

市議会各派が市政に関する調査研究活動をおこなった場合に、必要な経費を補うため「政務調査費」を交付しています。交付額は、会派の所属議員数に年額36万円を乗じて得た金額を交付し、支出に残額が生じた場合は返還しています。平成21年度の各会派の支出状況は次の通りです。

Table with 10 columns: 会派名, 項目, 交付額, 研究研修費, 調査旅費, 資料作成費, 資料購入費, 広報費・公聴費, その他経費, 計, 返還額. Rows include 清流21, 新政黎明, 公明クラブ, etc.

使途項目（解説）

- 研究研修費（研修会等を開催するために必要な経費又は会派の所属する議員が他の団体の開催する研修会等に参加するために要する経費…負担金等）
○調査旅費（先進地調査又は現地調査に要する経費…旅費等）
○資料作成費（資料の作成に要する経費…コピー機使用料等）
○資料購入費（図書、資料等の購入に要する経費…図書購入費等）
○広報費（議会活動や市の政策について市民に報告する経費…報告書印刷費等）
○公聴費（地域住民の市政に関する意見等を吸収するための会議等に要する経費…会場費等）
○人件費（調査研究活動を補助する職員を雇用する経費）
○その他経費（各経費以外で調査研究活動に要する経費）

※なお、交際費的（慶弔費等）な経費や政党活動、選挙活動などには支出することができません。

編集後記

山や庭の草木が枯れ、また農作物にも大きな影響があった猛暑も過ぎ、今コスモスが秋風にゆれていきます。足早に季節が移り変わり朝晩、肌寒くなってきました。そろそろ野山も冬支度を始めています。さて、合併後、半年が経過し、総勢43名の議員で行われた第3回印西市議会定例会は、9月2日から10月18日まで開催され、一般質問は25名の議員が登壇し、市政全般にわたる活発な議論が行われ熱気あふれる定例会となりました。平成21年度の決算認定（旧印旛・本埜村にとっては最後の決算認定）を始め、平成22年度の補正予算などを慎重に審議して長丁場の定例会を閉会しました。

私たちが編集委員は、議会の内容及び議員の活動などを分かりやすく、見やすい紙面です。紙面に使用する写真、記事の割り振りなどを話し合いながら皆様に読んでいただける紙面づくりを心掛けていますので皆様のご意見ご感想をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

(IS)

- 委員長 山口道博
副委員長 齋藤光彦
委員 山本清
委員 岩崎成子
委員 海宝成子
委員 中澤俊介
委員 橋本和治